

「市川三郷町立小中学校適正規模・配置等基本計画（素案）」に対する提出意見と町教育委員会の考え方

No.	箇所	意見等の内容	意見等に対する教育委員会の考え方
1	P 2 2 小中学校の適正配置の基本的な考え方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上野小学校、大塚小学校を統合する。および市川小学校、市川南小学校、市川東小学校を統合する。 →これについては賛成である。しかし今回は六郷小学校を地域性や通学距離を考慮し統合する小学校に加えなかつたが、P 1 3 の表によると今後児童数の減少見込まれるので早期に市川小学校との統合に加えたほうが良い。</li> <li>・三珠中学校、市川中学校、市川南中学校、六郷中学校を統合する。 →これについても賛成である。</li> </ul>	<p><b>【反映困難】</b></p> <p>六郷小学校については、地域性とともに通学距離が長くなることによる児童への負担などを総合的に考慮し本計画では、「現状のままする。」としました。</p> <p>その他の小中学校の統合に対するご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
2	P 2 2 小中学校の適正配置の基本的な考え方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合する学校については、学校間の距離からも妥当だと思いました。距離的に遠いため難しいのは伝わりましたが、六郷小学校も、児童数からもいずれ統合は避けられないかと思いましたので、今回の統合で話が終わるのではなく、子どもたちにとって最適な教育環境については考え続けていただきたいです。</li> <li>これまで地域の学校を大事にしてきたことは存じておりますが、ここまで子どもの人数が少なくなってきた以上、現状にあった新しい方針を考えなくてはならない時期かと思います。少人数だからこそその良さは当然あるかと思いますが、他に同じ年の同性・異性がない環境が 6 年または 9 年間続くという状況は、今後の人生の中から見てもあまりに特殊な状況ではないかと思います。多感な時期だからこそ、自分とは違う考え方を持つ同年代の友人と過ごす経験も必要な</li> </ul>	<p><b>【その他】</b></p> <p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>

		のではないかと思います。	
3	P 3 3 (2) 通学区域 の具体的方策に ついて (小・中學 校)	・スクールバス、コミュニティバス等の活用で対応を積極的に進めて欲 しい。	【実施段階検討】 通学方法につきましては、基本計画の内容に沿 って、今後設置予定の統合準備委員会の中にお いて、検討していく予定です。
4	P 3 3 (2) 通学区域 の具体的方策に ついて (小・中學 校)	・通学方法については、スクールバスを出していただけるのが一番あり がたいですが、中学生ならばJRといった方法も確かに可能かと思 いました。バスやJRにしても、ぜひ保護者負担のない形にしていただ ければ大変ありがたいです。	【実施段階検討】 通学方法につきましては、基本計画の内容に沿 って、今後設置予定の統合準備委員会の中にお いて、検討していく予定です。
5	P 4 4 基本計画を進 める上で必要な 事項について	・市川小中の校舎は改修ではなく新校舎（体育館も含めて）建設を望み ます。今の校舎が経ってから年数も経っていること（市川小築34年、 市川中築47年）と、今の校舎でもいろいろと不具合が出ています。 ぱっと見では分からなさだと思いますが、そこで生活してみると分かり ます。統合のタイミングで少し修繕しても、また何か経ってすぐに修 繕するまたは建て替えるとなると、余計にお金がかかってしまいます。 そして何より現在の市川中学校の校舎ではR11年度の11学級 プラス特別支援学級は収容しきれません。過去学年4学級だった頃も ありますが、それは今ほど特別支援学級もない時代です。特別支援学 級は在校生徒も年々増えています。R11年度は生徒数も学級数も増 えると思うので、キャパシティの問題も考えて欲しいです。体育館の 老朽化も著しく（小学校築55年、中学校築45年）、小学校の体育館 は雨が降ると床下浸水しています。中学校も雨漏りしています。近隣	【実施段階検討】 新しい中学校の校舎等の施設の整備のあり方 については、様々な角度から検討していきま す。

		では身延中、富士川中が新校舎、体育館は冷暖房付き（富士川中は予定）です。どちらも統合を機に建てたものだと思います。ぜひ考えてもらいたいです。自分の子どもたちに規模もそうですが、良い環境の中で学校生活を送ってほしいと思います。	
6	P 4 4 基本計画を進める上で必要な事項について	・統合後の学校跡地について、そのままではなく跡地を活用していく方針に賛成ですが、現在地域の避難所として学校が指定されているかと思いますので、災害時にどうなるか心配に感じました。	【実施段階検討】 統合後の学校跡地の活用や避難所としてのあり方などは、教育委員会だけでなく、役場全体で検討していきます。
7	P 4 5 基本計画を進める上で配慮すべき事項について	・統廃合は財政が厳しいからではなく、児童生徒の学習環境の充実といったようなことがスタートだったかと思いますが、実際に統廃合するとなると町の予算は余る部分があると思います。その分を保護者負担の軽減につなげることを考えて欲しいです。今、全国のいろいろな自治体が無償化の流れにあります。近隣の早川町・身延町は言うまでもなく、東京都内でも修学旅行を無償化する、制服を無償化するという自治体も数多くあります。給食費無償化は大変ありがたいですが、現在給食費を無償化していない自治体は山梨県では甲府市と甲斐市のみで、スタンダードになりつつあります。「子育ての町」を謳っている町なのでさらにもう一步でも二歩でも進んだ取組を実施し、家庭の経済格差や市町村の財政規模が教育格差に繋がらないようお願いします。	【実施段階検討】 ご指摘のとおり、本計画は、本町の子どもたちの望ましい教育環境を確保し、質の高い学校教育の充実を図っていくために、小中学校の適正規模及び適性配置の基本的な考え方を基にして定めたのですが、小中学校の統合だけではなく、素案の4ページ「4 基本計画を進める上で必要な事項について」に記載されている施策のほか、必要となる施策を実施し、質の高い学校教育の充実を図っていきます。
8	P 4 5 基本計画を進める上で配慮すべき事項について	・現在保育所に通う子供の親として、今後子どもが通う先の小中学校がどうなっていくかはとても心配に思います。統合の計画の説明会について、保育所・幼稚園の保護者向けにも開催していただけるとありがたいです。	【実施段階検討】 説明会の開催については、対象者、時期等を考慮した上で開催する予定です。

	て		
9	P 4 5 基本計画を進める上で配慮すべき事項について	<ul style="list-style-type: none"> <li>当事者の児童・生徒の声を聞くことも大切だと思います。児童会や生徒会の意見や感想を、この段階で、更には統合に向けての計画を進めるなかで、聴取してはいかがでしょうか。</li> </ul>	<p><b>【実施段階検討】</b></p> <p>昨年度、小学校5年生から中学校3年生までの児童生徒、保護者を対象にアンケート調査を実施しました。改めて、児童・生徒や保護者に対して意見や感想を聞く機会については検討していきます。</p>
10	P 5 3 統合の方法及び時期について（中学校）	<ul style="list-style-type: none"> <li>校舎、校歌、教育課程、制服等多岐にわたる検討項目があるが、これらを令和8、9年度内に進め、統合時期を令和10年度としてほしい。</li> </ul>	<p><b>【反映困難】</b></p> <p>4校の中学校を1校に統合し新しい中学校を開校することや、素案の5・6ページに記載されていますように、施設整備の必要性、検討事項が多岐に渡ることなどの理由から3年間の準備期間が必要という予測の中で、統合の時期については令和11年度を目途とするという設定をいたしました。</p>
11	P 8 統合の方法及び時期について（小学校）	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校同様様々な検討事項はあるが、すでに児童数が少ない学校における教育効果を鑑みると資料に示された年度では、令和14年度や17年度では遅すぎる。 特に大塚小学校の児童数の減少を見ると、令和17年度では遅すぎる。 また市川南小学校、市川東小学校では、すでに児童が0の学年があり、やはり早急に統合したほうが望ましい。 時期としては令和11年度を目途に統合を実施して欲しい。</li> </ul>	<p><b>【反映困難】</b></p> <p>基本計画では、まず中学校の統合を実施し、その後小学校の統合を実施する計画となっています。また、素案の7・8ページに記載されていますように、小学校の統合についても、新たな小学校を開校すること、施設整備の必要性、検討事項が多岐に渡ることなどの理由から3年間の準備期間が必要という予測の中で令和14年度、令和17年度を目途とするという設</p>

			定をいたしました。
12	P8 3 統合の方法及び時期について (小学校)	<ul style="list-style-type: none"> <li>R14年度では遅すぎると感じます。財政緊急事態宣言が出されてから学校の予算是2割以上削減されています。来年度もさらに厳しくなるそうです。学校では校舎が老朽化していても修繕することもできませんし、備品も全く買えない状況です。このまま予算が削減され続けると、子どもの学校生活に影響が出るおそれもあることや、保護者負担の増額に繋がることが大いに考えられます。少なくとも市川小・市川東小・市川南小はもっと早くに統合し、その分の余った予算を残った学校に分配し有効活用するということをした方が良いと思います。</li> </ul>	<p><b>【反映困難】</b>          素案の7・8ページに記載されていますように、新たな小学校を開校すること、施設整備の必要性、検討事項が多岐に渡ることなどの理由から3年間の準備期間が必要という予測の中で市川小学校、市川南小学校、市川東小学校の統合については、令和14年度を目指すという設定をいたしました。</p>
13	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域によってはその学校の卒業生である住民が地域に学校がなくなると、地域がさびれる、活気がなくなる等の考えで学校の統合に反対の声があると聞くが、近隣自治体の状況、本町の財政状況、そして当事者である児童生徒が適正な児童生徒数により教育効果が向上するなどの教育環境を整えることを最優先し、早期の統合を進めて欲しい。特に小規模小学校、中学校で起きている児童・生徒の不登校問題解決のためにも児童生徒数適正化は急いでほしい。</li> </ul>	<p><b>【その他】</b>          ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
14	全体を通して	<ul style="list-style-type: none"> <li>今在校している小学生や中学生に意見を聞いてみてはどうかと思います。そこを置き去りにして大人だけで決めてしまってよいものかと。また、この計画を進めるに当たって保護者、学校関係者、地域の方の理解・協力は必要不可欠なのはもちろんのこと、教育委員会に担当者を1名以上増員することも必要であると思います。</li> </ul>	<p><b>【実施段階検討】</b>          児童生徒・保護者に対しては昨年度アンケート調査を実施しましたが、さらに今後、基本計画について意見や要望等を聞く機会を検討していきます。</p>